

<h1>議 事 録</h1>	作 成 日	2020年3月27日
	作 成 者	千種 隆昌

会議名	第5回多世代共生型施設建設等準備委員会
日 時	2020年3月26日(木) 10:00~11:30
場 所	桑名市総合福祉会館 1階 第一会議室
出席者	委 員 : 長谷中委員長 田上委員 栗田委員 水谷委員
	事務局 : 加藤常務 竹内局長 山下法人統括マネージャー 中川 水谷係長 千種 中川建設推進マネージャー
	内藤大和リース三重支店長
欠席者	藤原委員、加藤委員

議事概要	
<p><b>1. 挨拶</b></p> <p>○委員長 平面図の取りまとめに向け議論したい。</p>	
<p><b>2. 議事</b></p> <p><b>(1) 前回議事録確認</b> 資料1に沿って事務局より説明。質疑無し。</p> <p><b>(2) 作業部会の開催報告(論点管理報告含む)</b> 資料2、別紙1、別紙2、論点管理表に沿って事務局より説明。</p> <p>○委員長 福祉ヴィレッジは利用者の声をひろいながら、共に作り上げていく。そのために利用者アンケート調査を実施する。アンケートについてご意見を頂きたい。</p> <p>○事務局 配布時期について、4月配布だと、療育センターや保育所に4月から通い始めた方だと何も分からない。利用年数が分かるとアンケートの精度が上がるのではないかと。1ヶ月目の人と3年目の人では感覚も違う。4月から利用し始めた人だと、分からないまま“良い”にすべて○を付けたりするのではないかと。</p> <p>○委員長 施設ごとに職員が配布するのであれば、属性別に回収利用状況を細かく記入すると、だれが書いたかが特定されるデメリットあり。一般的には、アンケートは外には出さない前提のため、属性欄を設け、回答者の利用状況を記入してもらおうと良いのではないかと。 答え易さ、修正の必要があるかなど、数名にプレ調査を行い、精度を高めて実施すると良い。 アンケートは大切だが、デメリット・限界があり、一人一人の個別の思い等が出てこない部分がある。ソフト面を検討する場面では、アンケートとともに数名に検討事項についてヒアリングすると</p>	

## 議事概要

良い。

### ○委員

高齢の方から療育の方まで、対象者の幅が広いので、どのような意見が出てくるのか。担当している利用者からアンケートの記入を手伝ってほしいと言われた場合、どう答えようか。

### ○委員長

出来る限り自由記述も書いてもらいたい。

続いて、本事業の見える化をはかるため、広報、情報発信方法についてご意見をお願いします。

### ○委員

内容を読む際に、長文だと内容を掴みにくい。項目ごとにそれぞれ記載があると良い。大きな見出しがあって、図も入れ分かりやすい内容にしてほしい。

### ○委員長

読み手を意識して、見せ方に工夫を。情報が行き届いていないことで不安となり反対運動につながることもある。きちんと事業の内容を知って頂く事が大切。

### (3) 福祉ヴィレッジ平面図について

資料3に沿って事務局より説明。

### (4) 店舗及び地域交流スペースについて

資料4及び図面に沿って事務局より説明。

### ○委員長

平面図、店舗、地域交流スペースを合わせて説明頂いた。事務局から補足があれば。

### ○事務局

ランチルームを保育園と共有して使用したい。メインの入口が保育所、療育と別れているようにみえるが、保育側の入口から生活介護の方が入って大丈夫。避難の際も、療育利用者が生活介護側を使うこともできる。間口が広がることで便利な部分もある。

### ○委員

保育園の下足や入り方、靴の置き場所等が理解できない。

### ○事務局

メイン出入口から入り、下足部分で靴を脱ぎ、下駄箱へ入れる。園庭側昇降口を通り、園庭へ出る。

### ○委員

就労Bについて、店舗の広さはどれくらいか？定員は？

### ○事務局

定員20名を想定。最初は、5～10人程度の少人数でスタート予定。

### ○委員

## 議事概要

20人定員となると、それなりに作業スペースや相談室等の確保が必要では？

### ○事務局

福祉ヴィレッジの方に相談室が設置されているため、複合施設の強みを生かして併用していく。店舗や就労B型事業所について、市内の事業所にも協力依頼をして一緒に運営していきたい。今後個別に事業所を訪問し、協働できること等を検討したい。

### ○委員

駅前にあった福祉の店が無くなった。販売の機会があると良い。関わっていききたいと思う事業所は多いと思う。

### ○委員長

店舗や交流スペースはいろんな人とのつながりの中核拠点になる。多目的に色々な方がつながる拠点になると良い。まちづくりの視点や、企業との協働等も取り入れると良い。山口県宇部市が多文化共生に力を入れている。他地区の事例なども参考にしながら桑名に合った形での交流拠点にして頂きたい。また、学びの機能を持たせることで理解・共感する人が地域に増え、障がいのある方も地域で安心して暮らすことにつながる。他職種が学ぶ場、研修の場にもなると良い。

### ○委員

通所棟の療育センターに上がる階段の吹き抜けはどの程度か？下の声はどの程度聞こえるのか。

### ○事務局

オープン階段ではない。保育所の声が2Fに響くことはない。

### ○委員

階段は子どもが利用するので段差は低めにしてもらいたい。

### ○事務局

段差を低くして、段数の多いものになっている。

### ○委員

音が苦手な子にとって、ざわざわしている空間には入れないという事がある。一度苦手意識がつくともう入れないという事がある為、音への配慮も必要。

### ○事務局

1F共用事務室内の計画相談コーナーにボックスシートがあると良いのではないかな？

### ○事務局

全て仕切ってしまうと閉鎖感もあり、空調等の設備も必要となると、そういうものが良いかもしれない。

### ○事務局

「居住棟」「通所棟」などの表現ではなく、「すまいのエリア」や「かよいのエリア」という表現にすると柔らかい感じがする。店舗の部分で、遠くからでも行きたいと思える商品、出店者があると良い。それを目指して来た人が、他の商品を買ってくれるのでは。店舗を企業に建ててもらい、管理を社協が行う等の協働も出来ると良いと感じた。

### ○委員長

## 議事概要

表現・発信の仕方でも福祉のイメージを変えていける。新たなイメージを作り、福祉に親しみを持ってもらえる伝え方を工夫してもらいたい。

店舗内容について色々な選択肢を用意して飽きない仕掛けがあると良い。色々な企業や関係者と繋がることで選択肢を増やすことができる。養護、母子部分のエントランスに関して、つながりと安全面の配慮されている。共用事務所で、職員の交流、有機的なつながりも生むことが出来るため良い。

### ○委員

公園を利用するための駐車場はあるのか。

### ○事務局

近隣住民の方の声を反映して、設置しない形になっている。施設側の駐車場を利用いただく方運用については今後検討していく。

## 3. その他

### 事務局より

- ・船井総研ヒアリング進捗報告。

3月19日に2回目のヒアリング。内容は、社協の法人運営についての再ヒアリングが1時間ほど、行政から養護老人ホーム・母子自立支援施設の現状報告と多世代共生型施設に対する期待と果たす役割また今後の動向・見通し、措置の考え方・判断基準について。結果は、4月に入って速やかに提出して頂ける。提案段階であるが、こちらが設定すれば、船井総研の見解を報告書と共に説明する事は可能。

- ・3月31日理事会開催予定に向けて

平面図の微修正で居住棟をすまいのエリア、通所棟をかよいのエリアに修正。それと共に、作業部会・建設準備委員会の開催状況など現状報告を行う予定。

以上